

市民公開講座

女性のがん 男性のがん

～あなたと大切な人を

子宮がん・前立腺がんから守るために～

2015年

9月26日
土曜日



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市産業振興会館 1Fホール

神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20

14:00～16:00 (開場 13:30)

申込不要・参加費無料
定員478名

女性のがんである子宮がんと男性のがんである前立腺がんについて、
婦人科医師・泌尿器科医師・放射線治療医が、
診断、予防から最新の治療法までわかりやすく説明いたします。
皆様お誘い合わせの上、ご来場ください。

座長：川崎幸病院副院長/放射線治療センター長

田中 良明 医師

講演①

「子宮がんについてのお話」

～最新の治療法について～

長谷川 明俊 医師

川崎幸病院 婦人科部長

日本産婦人科学会専門医/日本婦人科腫瘍専門医/

日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医/日本内視鏡外科学会技術認定医

講演②

「前立腺がんについてのお話」

鈴木 理仁 医師

川崎幸病院 泌尿器科部長

講演③

「放射線治療についてのお話」

芝田 紫野 医師

川崎幸病院 放射線治療医

お問い合わせ



: 044-542-7007

(川崎幸病院 広報室)

主催：社会医療法人財団石心会 川崎幸病院

がん検診を受けましょう

あなたと大切な人を
子宮がん・前立腺がんから守るために

子宮がん（子宮頸がん・子宮体がん）

子宮頸がんとは

- 子宮の入り口である頸部の上皮（表面の細胞）に発生します。
- 30歳から40歳代で多く診断されています（10万人当たり40～70人といわれています）。
- 40歳以上では年々減っていますが、20歳から30歳代では逆に増加傾向にあります。
- ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染ががんと強い関係があるといわれています。

子宮体がんとは

- 子宮の奥にあたる体部のうちの内膜に発生します。内膜は生理のときにはがれてしまうので、閉経前の女性では子宮体がんの発生は多くありません。
- 50歳から60歳代で多く診断されています（10万人当たり20～30人）。
- 閉経以降にリスクが高くなります。また、ホルモン補充療法を受けたり、子宮内膜増殖症があるとかかりやすいといわれています。

川崎市の子宮がん（子宮頸がん）検診

対象

満20歳以上の女性

※ 子宮体がん検診は、最近6か月以内に不正性器出血・月経異常・褐色帯下がある方で医師が必要と認めた場合にのみ行います。

検査方法

問診、子宮頸部細胞診

※ 子宮頸部の表面から綿棒などでこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。

負担金

※ 対象者の方にはがん検診が無料で受診できるクーポン券が市より送付されます。
※ 2年に1回の実施です。

※ がん検診は、川崎市内登録医療機関において受診いただけます。

前立腺がん

前立腺がんとは

50歳になったら年に1度のPSA検査を

- 前立腺とは男性だけにある生殖器の1つで、膀胱の真下にある臓器です。
- 前立腺がんは前立腺にできるがんで、食生活の欧米化や高齢化に伴う男性ホルモンの影響などにより、日本人に増えているがんの1つです。（2020年に男性がん罹患数の第1位になると予測）

前立腺がん早期発見に有効なPSA検査

採血のみの検査です

前立腺がんは早期に治療すれば約90%の人が完治するといわれています。そのため、**早期発見に有効なPSA検査**が勧められています。

PSAは前立腺から分泌されるたんぱく質の一種です。前立腺に異常があるとPSAが大量に血液中に流れ出します。そのため、採血でPSA値を測定することで、前立腺がんを早期に発見することができるのです。